

きょう総社市と AMDA派遣

職員ら栃木支援へ

総社市と国際医療ボランティアAMDA（本部・岡山市）は11日、豪雨に伴う

土砂災害が発生した栃木県日光市の緊急支援活動として市職員3人、調整員1人を12日に派遣すると発表した。活動は14日までの3日間の予定。

一行は12日午前に岡山空港を出発し、JR東京駅から東北新幹線で現地入り。

災害対策本部で被災状況や支援ニーズなどの情報収集を行う。ばんそうこうや湿布薬、ウエットティッシュといった救援物資を持参するほか、さらに必要な物資は現地で調達する。

総社市とAMDAは2009年、人道的な視点に立った活動で連携する協定を締結。合同の緊急支援活動は11年のブラジル・リオデジャネイロ豪雨災害、東日本大震災、昨夏の広島土砂災害に次いで4件目。

（水嶋佑香）